

## 2013 年度 小委員会活動成果報告

(2014 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	集落復興再生小委員会	主 査 名：後藤隆太郎 就任年月：2010 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	農村計画委員会	委員長名：岡田知子
設 置 期 間	2010 年 4 月 ～ 2014 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>〈設置目的〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農山漁村等の集落地域におけるこれまでの復興再生過程を検証する。</li> <li>・ 農山漁村等の集落地域における集落再整備計画、住宅再建計画のあり方を議論する。</li> <li>・ 農山漁村等の集落地域における復興再生計画を支援する。</li> </ul> <p>〈2010-2013年度の活動計画〉</p> <p>2010-2012年度：上記目的に符号する具体事例収集や議論を実施</p> <p>2013年度：集落復興計画手法・史的観点から書籍等の資料編纂を予定。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：後藤隆太郎 (佐賀大学) <span style="float: right;">計 15 名</span></p> <p>幹事：佐藤栄治 (宇都宮大学)、三笠友洋 (神奈川大学)、鈴木孝男 (宮城大学)</p> <p>委員：岡田知子 (西日本工業大学)、河野泰治 (グランドワーク福岡)、重村力 (神奈川大学)、石丸紀興 (広島諸事・地域再生研究所)、山崎寿一 (神戸大学)、澤田雅浩 (長岡造形大学)、加藤仁美 (加藤仁美環境デザイン研究室)、浅井秀子 (鳥取大学)、菊池義浩 (東北工業大学)、寺澤秀忠 (抄拓)、山口尚之 (タステン アーキテクト)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)		
2013 年度予算	115,000 円	<p>ホームページ公開の有無：有</p> <p>委員会 HP アドレス：<a href="http://news-sv.aij.or.jp/nouson/s0/">http://news-sv.aij.or.jp/nouson/s0/</a></p>

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	<p>1. 研究懇談会：集落に根ざす住まいの再建 — 東日本大震災からの復興 『農村計画部門研究懇談会資料：同上』 <span style="float: right;">参加者数 30 名</span></p>
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>①2013大会農村計画部門研究懇談会の実施を通じ、被災漁村の生活再建の実情や課題の整理を行った。また、2013年度技術部門設計競技(農村計画委員会が担当)に一部のメンバーが参画協力した。②当小委員会が中心となる共同研究(「東北日本沿岸地域の被災集落再生に向けた環境共生・参加型空間計画手法に関する研究」三井物産環境基金(東日本大震災復興助成(研究助成)、2011年9月～2014年9月)を継続して実施した。③『東日本大震災合同調査報告書(建築)』における農村計画分野の編纂に関して、当小委員会が中心的な役割を担い、2013年度中の刊行に向けた議論や作業を行った。以上などにより、復興再生事例の収集、復興計画のあり方や支援を目的とした小委員会の当初の活動計画は十分に達成されたものとする。</p>
委員会活動の問題点 ・ 課題	